

機関車製造事業



本事業で製造された機関車

借款概要

承諾額/実行額	6,067百万円 / 5,398百万円
借款契約調印	1993年8月
借款契約条件	金利2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1999年11月

事業概要

別途円借款により建設されたりサルプール機関車工場においてディーゼル機関車を製造することで、鉄道輸送力の増強を図り、同国国内の交通事情の改善に寄与せんとするもの。

評価結果

本事業で製造された機関車（PHA-20）18両および円借款で実施された別プロジェクトにおいて製造された同型機関車5両を含む合計23両の走行距離は、1996年7月から1999年6月の期間において、同国鉄旅客部門保有の全旅客車両の走行距離の11.75%にのぼっている。

また、機関車組立過程でサプライヤーから国鉄技術者に対し、施工監理指導を通じた技術移転があり、その後の機関車製造事業および国鉄の機関車製造の国産化推進方策に大きく貢献している。

本事業で製造された機関車は、現在主に特急車両用として運行しており、信頼率・稼働率ともに主要機関車全体の平均値を上回っている。

パキスタン国鉄は、機関車、客車、貨車のリハビリ、新規調達・製造などを計画しており、今後とも施設の更新に努めて行くことになっている。